

#### シップヘルスケアグループ 医療従事者様サポートマーク

医療従事者の皆様に寄り添う意志を表す[プラス]のかたち、  
医療従事者の皆様への感謝の意志を表す[ハート]のかたち、  
医療従事者の皆様を支える強い意志を表す[! ]のかたち。

それらを組み合わせたオリジナルマークは、  
いかなる時でも医療従事者の皆様をサポートするという、  
シップヘルスケアグループの思いを表象し、  
医療従事者の皆様への感謝を視覚的に伝えるためのマークです。

## 第 32 期 株主通信 [2023年4月 1日▶ 2024年3月31日]

生命を守る人の環境づくり

 **SHIP HEALTHCARE**

シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード：3360



代表取締役会長

古川 國久



代表取締役社長

大橋 太

グループ理念

**SHIP**

Sincere (誠実な心)    Humanity (「情」の心)    Innovation (革新者の気概)    PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ  
**至 誠 惻 怛**

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2024 SHHD KEYWORD

きゃっか しょうこ  
**脚下照顧…飽くなき挑戦**

# 更なる高付加価値提供に向け、『進化』と

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループは、中期経営計画『SHIP VISION 2024』を推し進めており、2期目となる当期（2024年3月期）も、高付加価値型の事業運営を通じて『進化』と『成長』を着実に推し進めることができました。

当期の連結業績と利益還元について

引き続き増収増益基調を確保。  
上場以前から24期連続増収。

トータルパックプロデュース事業においてミャンマーの政情不安等の影響はありましたが、国内のプロジェクト案件が概ね計画通り堅調に推移するとともに、重粒子線がん治療施設の治療件数増加、キングラングループ（2022年7月に当社グループ入り）の業績の期初からの計上なども加わり、売上・利益を着実に伸ばしました。また、メディカルサプライ事業、ライフケア事業、調剤薬局事業も、堅調に推移し、増収増益に寄与しました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上が前期比10.3%増の6,309億円、営業利益が同16.0%増の245億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同14.3%増の137億円と、二桁の増収増益となりました。

こうした業績動向を鑑み、株主の皆様への配当金を当初予想から更に上乗せすることとしました。その結果、当期の1株当たり配当金は普通配当45円に30周年記念配当5円を加えた50円（前期実績より8円増）となり、8期連続の増配を達成しております。引き続き、配当性向30%以上を目安として、業績の成長に見合った成果の配分に努めてまいります。

業績結果

(単位：百万円)

|                 | 2023/3<br>(前期) | 2024/3<br>(当期) | 増減率     |
|-----------------|----------------|----------------|---------|
| 売上高             | 572,285        | 630,988        | + 10.3% |
| 営業利益            | 21,144         | 24,535         | + 16.0% |
| 経常利益            | 20,607         | 25,215         | + 22.4% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 12,063         | 13,789         | + 14.3% |

中期経営計画の進捗について

地域医療に新たなバリューを創出する挑戦が着実に進展

中期経営計画の達成に向けて、策定当初に掲げた4つの重要施策「コア事業の更なる高成長」、「積極的なバリューの拡大」、「機能強化戦略」、「サステナビリティに対する取組み」を複合的に推し進め、順調に進捗しております。具体的には、グループ全体の多様なノウハウを活かした「コンサルティング力」と「プロデュース力」を起点に、地域医療への高品質かつ幅広いバリュー提供の輪が着実な広がりを見せております。

トータルパックプロデュース事業におけるプロジェクト案件では、「日本の地域医療をもっと強く」という指針のもと兵庫県の官・民2病院を統合した地域基幹病院「川西市立総合医療センター」（2022年9月 移転・開院）、新潟県長岡駅前の市街

# 『成長』はとまらない

地再開発事業として「医療からまちづくりに貢献」することを目指した、大型総合クリニック「エールホームクリニック長岡」（2023年9月 竣工）など、当社の展開する「生命を守る人の環境づくり」は、これまでになかった様々な全く新しいコンセプトのプロジェクト案件も取り組みながら、新たな段階に入りました。また、Well-Being推進事業として、「子どもの環境と未来を守る」ことを旗頭に、吹田市が保有する小学校・中学校・幼稚園・保育園等合計84施設に関する包括管理業務を受託しました（契約期間は2023年～2028年の約5年間）。

メディカルサプライ事業では、特に、「医療DXへの取り組み強化」に注力しております。我が国の医療分野でも今、政府が新設した「医療DX推進本部」主導のもとサービスの効率化や質の向上に向けたDX化が推し進められています。こうした動きを先取りしながら、当社グループでは、全国の医療機関においてSPDデータの見える化を推し進めると同時に、産官学連携による未来の医療サービス基盤創造に向けた取り組み（内閣府主導の戦略的イノベーション創造プログラムへの参画や、東京大学医療AI・デジタルツイン開発学講座の研究支援など）も行っています。

地域医療へ新たなバリューを創出する挑戦の先に、確かな社会貢献と企業価値向上の両立があり、その歩みは長期目標「連結売上高1兆円」へと確実に繋がっています。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 中期経営計画「SHIP VISION 2024」計画のフレームと目標数値

### 拡大するヘルスケアニーズに応えながら、高付加価値型の事業運営を推進



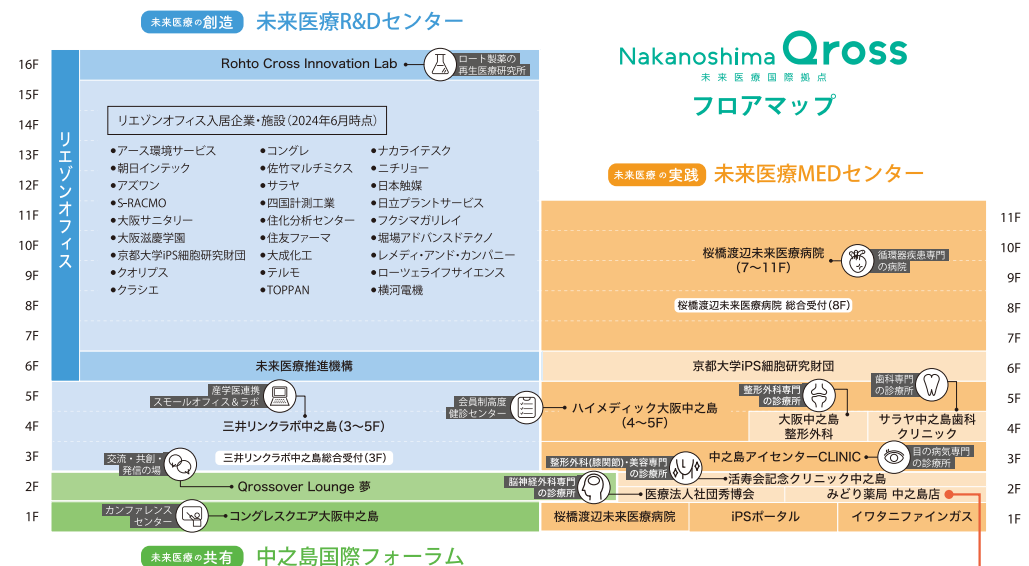
| SHIP VISION 2024<br>最終年度達成目標 | (単位：百万円)   |            |            |
|------------------------------|------------|------------|------------|
|                              | 2023.3(実績) | 2024.3(実績) | 2025.3(計画) |
| 売上高                          | 572,285    | 630,988    | 640,000*   |
| 営業利益                         | 21,144     | 24,535     | 26,000     |
| 営業利益率                        | 3.7%       | 3.9%       | 4.1%       |

\*2025年3月期の業績見通しにつきましては、中期経営計画で策定した売上高計画(630,000百万円)を上回る業績を見込んでおります。

【トータルバックプロデュース事業】

再生医療を中心とした未来医療を創造していく  
Nakanoshima Crossに参画

未来医療国際拠点「Nakanoshima Cross(中之島クロス)」は、医療機関と企業、スタートアップ、支援機関などが集積し、再生医療を中心とした未来医療を創造していく拠点です。当社グループは2019年11月より運営母体の一般財団法人未来医療推進機構の一員として参画し、入居する複数の病院、クリニックの設計・企画段階から開院・開院後まで幅広く支援するとともに、調剤薬局「みどり薬局 中之島店」もオープンしました。



Nakanoshima Cross



提供：一般財団法人未来医療推進機構

みどり薬局 中之島店



2024年5月オープン

【メディカルサプライ事業】

SPDの見える化による病院経営・運営支援

医療分野でのDXを通じたサービスの効率化・質の向上の実現に向け、医療DX化が加速しています。当社では、SPD業務で取得している「物流管理システムに蓄積された入庫から消費、在庫までのデータ」を活用して、病院様の経営・運営改善の支援してきました。



- 導入先の平均継続受託期間は約12年であり、長期継続先が増加中
- 医療機関様の様々なデータを統合し手術室稼働率や患者別原価分析等の比較データを提供

**【事例①】**  
A病院: 1,000床規模

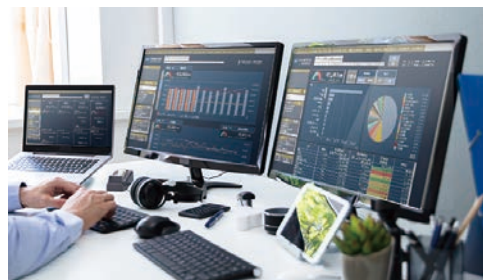
病院様 汎用品類の継続的な価格交渉に、データ活用を組み合わせ、大幅な価格削減に成功。数量15%増に対して、金額は25.8%削減。

当社側 契約継続に加え、診療材料・医薬品の調達業務及び既存業務が拡大。

**【事例②】**  
B病院: 600床規模

病院様 コンパスボードを利用し、ターゲット分析を行ったことで、商品切替を実施。循環器分野で、年間4%のコストを削減。

当社側 契約継続、病院幹部との情報連携頻度が増加。



【トータルバックプロデュース事業】

## 重粒子線治療の新規外来受診者数 及び治療件数が増加

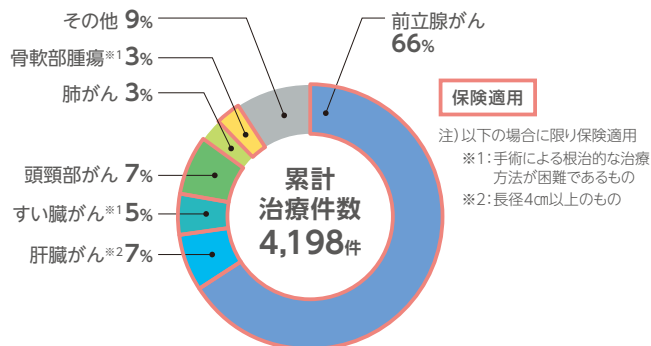
がん細胞にピンポイントで重粒子線を照射し、身体への負担が少なく治療できる最先端のがん治療「重粒子線治療」では、2022年4月から保険適用対象部位が拡大しました。これにより、新規外来受診者数及び治療件数が増加し、2024年3月末で累計4,198件の治療件数となりました。

また、大阪大学重粒子線治療学寄附講座と協力し、人材育成や研究開発に積極的に支援するとともに、今後も、一人でも多くの患者様の生命を救うべく安定的な運営を続けてまいります。



加速器(シンクロトロン)

### 疾患別構成比



(2018年10月16日～2024年3月31日)

治療に関する  
お問い合わせ

公益財団法人 大阪国際がん治療財団  
 〒540-0008 大阪市中央区大手前3-1-10  
 TEL 06-6947-3210

## 人々がより良く生きる環境づくり 「Well-Being」領域

人生100年時代において、人々が健康に長く暮らせる環境づくりを目指し、Well-Being領域ビジネスも拡大してきました。最近では吹田市の桃山公園、江坂公園の緑化指定管理者として管理しております(Park-PFI制度\*)。桃山公園では、公園のさらなる活性化や、3世代が集う場を提供することを目的に、「鯉のぼりイベント」を実施しました。

また、北大阪健康医療都市である健都で開催された「健都リレーマラソン」の特別スポンサーとしてサポートしました。

今後も人々の生命や健康を守るべく活動を続けてまいります。

\*Park-PFI制度：民間事業者による公共還元型の収益施設の公募設置管理制度



健都リレーマラソン(2024年5月12日開催)



桃山公園「鯉のぼりイベント」(2024年4月26日～5月6日開催)

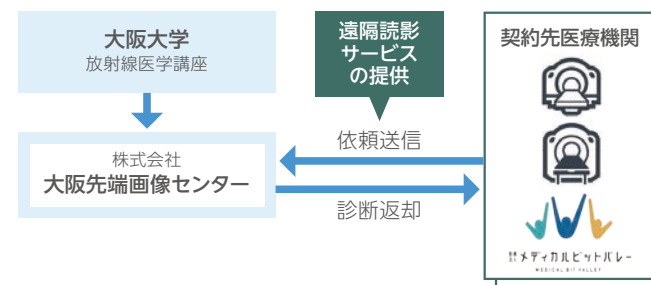
## 医療法人とのタイアップによる 新たなビジネス展開

当社連結子会社(株式会社大阪先端画像センター)による遠隔読影で、東日本初となるエールホームクリニック長岡(新潟県長岡市・2023年10月オープン)と提携を開始しました。

医療法人メディカルピットバレーが運営するエールホームクリニック長岡は、高度な医療機能を持つ病院と、かかりつけ医として地域に寄り添う個人病院の真ん中に位置し、両者をつなぐ仕組みとして地域医療の活性化に寄与しています。同クリニックでは、導入したCTを地域の医療機関で共同利用しており、撮影された画像は大阪先端画像センターを介して、大阪大学医学部放射線医学教室に属する画像診断の専門医の先生方によって読影いただいております。導入費用が高額なためCTを備えている医療機関は多くありませんが、本取組みにより、長岡地域の患者様も地元で居ながらにして専門性の高い画像診断をお受けいただくことが可能になりました。

メディカルピットバレーの取組みが、地域医療の現場に広がっていくよう、引き続き当社グループでも支援してまいります。

### 大阪先端画像センターとエールホームクリニック長岡との遠隔読影の流れ



【ライフケア事業】

2024年7月にグリーンライフ仲池上がオープン予定

当社ライフケア事業の拡充・更なる効率化を図るため、株式会社チャーム・ケア・コーポレーションが展開する新たな事業「ヘルスケア・デベロップメント事業」(有料老人ホーム等のヘルスケア物件を開発し、その物件をヘルスケアREIT等の第三者に売却する事業)へ参画しました。

当社連結子会社(グリーンライフ東日本株式会社)が運営事業者として、2024年7月のオープンに向けた準備を着実に進めております。



「グリーンライフ仲池上」(完成予想図)

- 種類 : 介護付き有料老人ホーム [〈資料請求はこちら〉](#)
- 定員 : 123名
- 運営事業者 : グリーンライフ東日本
- 開設予定日 : 2024年7月



入居に関する  
お問い合わせ

介護付有料老人ホーム グリーンライフ仲池上  
0120-1165-14(フリーダイヤル・無料)

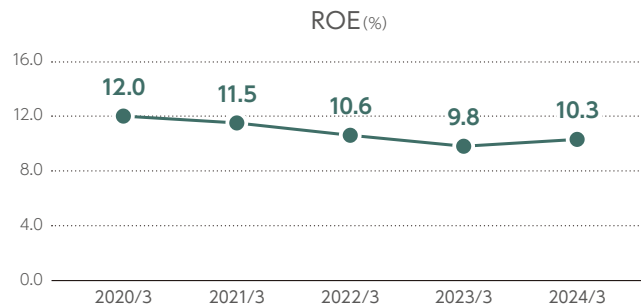
【中長期的な企業価値の向上】

資本コストや株価を意識した経営

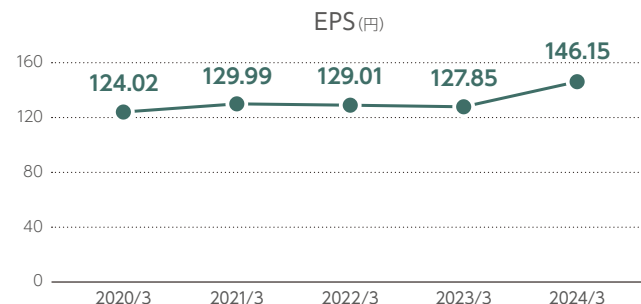
2024年3月期は、政策保有株式を売却するなど、資本効率を意識した経営を行ってまいりました。ROEにつきましては、2023年3月期は10%を切る水準となりましたが、2024年3月期は10.3%となり、直近5年平均ROEも10%を維持しています。

今後も資本収益性の中長期的な向上、企業価値の向上を目指してまいります。

5年平均ROEは二桁を維持



1株当たり当期純利益の改善



【株主還元】

安定的な株主還元(8期連続増配)

2024年3月期の1株当たり配当は、普通配当45円に30周年記念配当5円を加えた合計50円となりました。当初では48円を予定しておりましたが、当期純利益が計画比で増益となったことから、2円増配とさせていただきます。

引き続き、当社では、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保資金を確保しつつ、安定的に配当性向30%以上を維持し、継続的に業績の成長に見合った成果の配分をすることを基本方針としてまいります。

|            |      | 2017/3 | 2018/3 | 2019/3 | 2020/3 | 2021/3 | 2022/3 | 2023/3 | 2024/3 | 2025/3(予) |
|------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
| 1株当たり配当(円) | 普通配当 | 28     | 32     | 35     | 37.5   | 40     | 41(注)  | 42     | 45     | 53        |
|            | 記念配当 | 2      | -      | -      | -      | -      | -      | -      | 5      | -         |
|            | 合計   | 30     | 32     | 35     | 37.5   | 40     | 41     | 42     | 50     | 53        |
| 配当金総額(百万円) |      | 3,035  | 3,238  | 3,334  | 3,556  | 3,774  | 3,868  | 3,962  | 4,717  | 5,000     |
| 連結配当性向     |      | 32.2   | 31.3   | 30.7   | 30.2   | 30.8   | 31.8   | 32.8   | 34.2   | 33.3      |

(注) 当社は、2021年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期以前の数値につきましては、当該株式分割が2017年3月期の期首時点で実施されたと仮定した数字としております。

連結配当性向  
**30%以上**

**8期連続**  
増配達成

(2024年3月31日現在)

主要経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位:百万円)

|                 | 2020/3  | 2021/3  | 2022/3  | 2023/3  | 2024/3  | 2025/3(予想) |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|
| 売上高             | 484,395 | 497,156 | 514,353 | 572,285 | 630,988 | 640,000    |
| 営業利益            | 18,794  | 21,800  | 20,505  | 21,144  | 24,535  | 26,000     |
| 経常利益            | 19,931  | 21,761  | 21,287  | 20,607  | 25,215  | 26,000     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 11,803  | 12,280  | 12,172  | 12,063  | 13,789  | 15,000     |
| 総資産             | 308,873 | 334,498 | 335,074 | 381,977 | 386,819 |            |
| 純資産             | 104,681 | 115,103 | 122,318 | 131,115 | 142,216 |            |

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。また、2021年3月期以前の各数値は当該会計基準等を遡及適用しておりません。

セグメント情報 (2023年4月1日~2024年3月31日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が当期は第4四半期に偏重傾向でしたが、概ね計画通り堅調に推移いたしました。メーカー系における電装部品の長納期化の影響は、引き続き継続しているものの、正常化に向けて改善しております。また、重粒子線がん治療施設においては、2022年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより新規外来受診者数及び治療件数が増加いたしました。さらに、2022年7月にグループ入りしたキングラングループの業績が、当期は期初より寄与いたしました。一方で、軍事クーデターに端を発する欧米の金融制裁や外貨の強制兌換等の影響を強く受けていたミャンマー事業においては、のれんの全額相当である2,635百万円を特別損失として第2四半期連結累計期間に減損処理し、さらに第4四半期連結累計期間には当該子会社の全株式を売却いたしました。以上の結果、売上高は133,717百万円(前連結会計年度比9.7%増)、セグメント利益(営業利益)は11,805百万円(前連結会計年度比30.8%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前年下期に受託した新規SPD受託施設の稼働が堅調に推移したことに加え、既存SPD受託施設においても受託業務の領域が拡大しました。一方で、原材料価格や人件費高騰の影響を受けました。また、新規M&Aに係る株式取得費用や感染症対策商品の在庫評価損等の一時的な費用を計上しました。以上の結果、売上高は428,451百万円(前連結会計年度比10.9%増)、セグメント利益(営業利益)は6,513百万円(前連結会計年度比2.3%減)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、介護サービスでは光熱費高騰の影響を軽減すべく光熱費の管理徹底に努めました。また、当期初来実施いたしました管理費の見直し後も引き続き高い入居率を維持いたしました。さらに、食事提供サービスでは前期にグループ入りした企業の業績が寄与したこと等により食品価格の高騰を乗り越えて増収増益となりました。以上の結果、売上高は36,099百万円(前連結会計年度比7.5%増)、セグメント利益(営業利益)は2,606百万円(前連結会計年度比26.8%増)となりました。

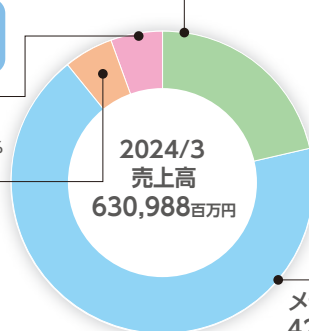
調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規出店及び小規模なM&A等により、業績は堅調に推移いたしました。以上の結果、売上高は32,719百万円(前連結会計年度比7.3%増)、セグメント利益(営業利益)は3,530百万円(前連結会計年度比8.4%増)となりました。

セグメント別売上高構成比

調剤薬局事業  
32,719百万円 / 5.2%

ライフケア事業  
36,099百万円  
5.7%



トータルパックプロデュース事業  
133,717百万円  
21.2%

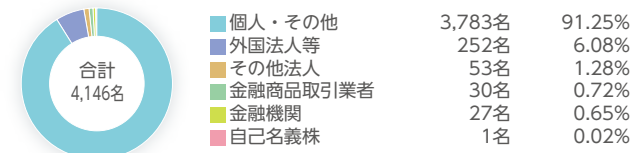
メディカルサプライ事業  
428,451百万円 / 67.9%

株式の状況

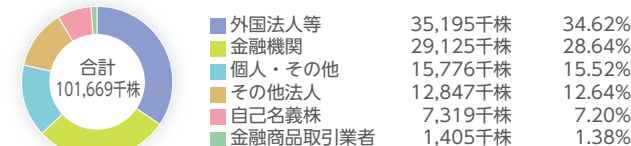
|          |           |
|----------|-----------|
| 発行可能株式総数 | 128,000千株 |
| 発行済株式総数  | 101,669千株 |
| 株主数      | 4,146名    |

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

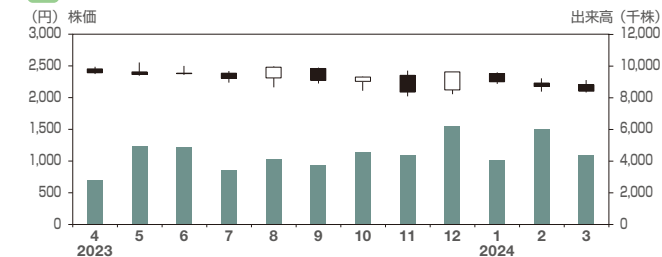
大株主の状況

[保有株式数] [持株比率]

|                                            |          |        |
|--------------------------------------------|----------|--------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                    | 11,927千株 | 12.64% |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                         | 8,844千株  | 9.37%  |
| 株式会社コッコー                                   | 7,977千株  | 8.46%  |
| JP MORGAN CHASE BANK 380055                | 3,693千株  | 3.91%  |
| GOVERNMENT OF NORWAY                       | 2,912千株  | 3.09%  |
| 春日興産合同会社                                   | 2,800千株  | 2.97%  |
| 全国共済農業協同組合連合会                              | 2,534千株  | 2.69%  |
| 古川 幸一郎                                     | 2,460千株  | 2.61%  |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 2,290千株  | 2.43%  |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025 | 2,095千株  | 2.22%  |

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。※ 当社は、自己株式7,319,175株を保有しておりますが、上記の上位10名からは除外しております。

株価・出来高の推移



## 会社情報

### 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社  
設立 1992年8月  
代表取締役会長 古川 國久  
代表取締役社長 大橋 太  
資本金 155億5,301万円  
決算月 3月  
従業員数 連結 7,793名(正社員) 16,830名(従業員)  
本社所在地 〒565-0853  
大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
TEL: 06-6369-0130  
FAX: 06-6369-3191

### 役員 (2024年6月27日現在)

|          |        |
|----------|--------|
| 代表取締役会長  | 古川 國久  |
| 代表取締役副会長 | 小西 賢三  |
| 代表取締役副会長 | 小川 宏隆  |
| 代表取締役社長  | 大橋 太   |
| 専務取締役    | 横山 裕司  |
| 常務取締役    | 海野 眞史  |
| 取締役      | 島田 正司  |
| 取締役      | 安田 芳郎  |
| 取締役(社外)  | 佐野 精一郎 |
| 取締役(社外)  | 今別府 敏雄 |
| 取締役(社外)  | 伊藤 文代  |
| 取締役(社外)  | 西尾 信也  |
| 常勤監査役    | 戸田 成重  |
| 監査役(社外)  | 佐野 信行  |
| 監査役(社外)  | 南 浩一   |
| 監査役(社外)  | 水島 藤一郎 |

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

### シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>

 SHIP HEALTHCARE



## 株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
定時株主総会 毎年6月中  
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告によりおこなう  
公告掲載URL <https://www.shiphd.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## サステナビリティレポート

「生命を守る人の環境づくり」をミッションのもと、持続可能な社会の実現を目指す当社グループの活動をまとめた「サステナビリティレポート2023」です。ホームページにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。



サステナビリティレポート2023表紙

サステナビリティレポート  
ダウンロードはこちら



## アンケートの お願い

当社では、株主の皆様からいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

### Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ①1ヶ月以内 ②2～5ヶ月前  
③6ヶ月以上前 ④1年以上前  
⑤株式上場時(2005年2月)

### Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ①中長期的に保有する ②短期で考えている  
③買い増しする ④投資収益に応じて売却する  
⑤未定

### Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ①規模の拡大 ②ビジネスモデルの強化  
③経営の効率化 ④収益性 ⑤安定性  
⑥株主政策の強化 ⑦その他( )

### Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ①株主通信 ②ホームページ ③株主総会  
④個人投資家向け説明会の開催  
⑤その他( )

### Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ①マネジメントメッセージ ②トピックス  
③業績の概要 ④株式関連情報  
⑤サステナビリティレポート

### Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ①大変満足している ②ある程度満足している  
③普通 ④あまり満足していない ⑤不満である

### Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。